令和５年度　第３回小松島市ごみ処理施設整備手法等検討委員会　議事要旨

日時：令和５年８月２５日(金)１０：３０～
場所：小松島市役所　４階大会議室

出席委員
　上月委員、小川委員、蔭山委員、津川委員、澤口委員

会議に付した案件
　議題（１）固形燃料受入可能性調査について
　　　（２）施設整備候補地の一次選定及び二次選定の経緯について
　　　（３）施設整備候補地の三次選定について

議事要旨
委員の半数以上が出席しているため、委員会が成立していることを確認した。

議題（１）固形燃料受入可能性調査について
　固形燃料受入可能性調査について報告。

委員意見：塩素についての意見があったが、固形燃料の塩素分をコントロールする方策はあるのか。
事務局：新施設において塩化ビニルの選別を行うことなどが考えられる。また、近年高塩素に対応したボイラの導入が進んでいると聞いている。これにより受入先も広がるのではないかと期待している。
委員意見：三豊市では塩化ビニルを除去するなどの対応しているのか。
事務局：三豊市の詳細な対応策は確認していない。固形燃料の搬出は継続していることから、塩分濃度は問題とならない範囲で推移していると想定している。
委員意見：三豊市の塩素対応について調査すること。
委員意見：塩化分の由来は何であると想定しているか。原因物の分別実施は考えているのか。
事務局：主な原因としては塩化ビニル製品である。プラスチック類を分別していただいているうえで、さらにプラスチック類の成分で分別してもらうことは難しいと考えている。
委員意見：時代の潮流もあるので、市民の方々と一緒によりよいごみ処理施設のあり方について検討していくべきではないか。
事務局：今後検討する。

委 員 意 見 ： 食品残渣の塩素も多くないのか。
事　 務　 局　 ： 食品残渣からの塩分の流入は考えられる。

議題（２）施設整備候補地の一次選定及び二次選定の経緯について

施設整備候補地の一次選定及び二次選定の経緯について報告。

議題（３）施設整備候補地の三次選定について

施設整備候補地の三次選定について報告。

委 員 意 見 ： 施設の配置図の中でレクチャー室などの配置はどのように考えているのか。
事　 務　 局　 ： 基本方針で定めた環境学習や啓発のための場などは、次年度以降に実施する基本計画の中で詳細に議論させていただきたいと考えている。
委　 員　 意　 見： 用地取得費はどのような面積を対象に算定しているのか。。
事　 務　 局　 ： 現時点では当初の施設配置面積である 2.0ha としている。各候補地において 2.0ha 以上の用地確保も可能であると見込んでいる。最終的な面積は今後の基本計画策定の中で確定していく。
委 員 意 見 ： 敷地造成工事費において液状化対策が必要な深さにより算出されているが、必要な深さと工事費が比例していないのはなぜか。
事　 務　 局　 ： 敷地造成工事費には盛土購入費と盛土工事費が含まれているため、液状化対策の深さと工事費が比例していない。盛土工事費は、周辺での公共工事における残土の流用も考えられるため、工事費は下がる可能性がある。
委 員 意 見 ： 国道に近い候補地に施設を建設するなど、周辺から視認でき、アピールとなるような位置でもよいのはないか。
委　 員　 意　 見： ⑦の候補地は隣接市への影響も考えられるため、評価内容はもう少し厳しいものとなると考える。①の候補地はインターチェンジの付近となり、今後新たな産業拠点の創出が見込まれるため何か新しいほかの使い方ができそうな可能性のある場所と考える。そこを踏まえて違うのかなと感じる。
委 員 意 見 ： ごみ処理施設を迷惑施設ではなく、市民のためになるような素敵な施設としてほしい。本市の自然とマッチした（大阪市の施設のような外観に配慮する等)、また訪れてみたいと思えるような施設としてほしい。
委 員 意 見 ： 迷惑施設ではなく、よい施設としていき、住民の方へご理解いただけるように努力していく。現施設の老朽化が著しいため、住民の方

へのご理解をいただき、早急に施設整備を進めたいと考えている。

委 員 意 見 ： 総合評価の方法について異論や意見はあるか。

委 員 意 見 ： 特になし。

委 員 意 見 ： 総合評価の方法について異見はなかった。委員の方々の意見を踏まえて、迷惑施設ではなくよりよい施設を整備していただきたい。

委 員 意 見 ： 用地の取得見込みについて、反対があれば問題にならないのか。

事 務 局 ： 最大限ご理解いただけるように努力してする。ただし、事情により最終候補地を変更する可能性は排除しない。

委 員 意 見 ： 固形燃料化施設の整備に関してご心配があることは十分に把握している。今後もしっかり調査・研究して事業を進めていく。

――――了――――